

政策カルテ

1. 政策の位置づけと目標

		主管課	高齢福祉課							
政策の柱	市民の安全で健康な笑顔あふれる暮らしを支えるために		取組の基本方向 「高齢期の生活を充実する」ため、健康の維持や介護予防の推進による「高齢者の自立促進」、生涯にわたり社会の中で活躍できる機会の充実を図るための「高齢者の生きがいがづくりの充実」、住み慣れた地域での自立した生活を支援するための「介護保険事業の充実」に、重点的に取り組めます。							
政策名	2 高齢期の生活を充実する									
目標	高齢者が自らの介護予防に積極的に取り組み、住み慣れた地域の中で生きがいをもって、充実した生活を送っています。		政策の指標	高齢者が生きがいをもって元気に活動していると感じている市民の割合						
政策を取巻く環境	高齢化社会が進行するなか、高齢者が健康で生きがいを持ち、安心して自立した生活を送ることができる笑顔あふれる長寿社会を実現するためには、高齢者保健福祉施策や介護保険事業を一層充実する必要があります。		政策指標の進捗状況	H19：基準	H20	H21	H22	H23	H24：目標	進捗状況
				33.1%	28.2%				47.0%	60.0%

2. 政策の評価

現状と課題の分析	政策指標の進捗状況は、平成19年度に比べて4.9ポイント減少していることから、平成24年度目標の47%を達成するためには、さらに取組を推進する必要がある。また、政策を構成する施策については目標を達成しているが、3施策ともに重要度は高いものの、市民全体あるいは施策全体から見た満足度は十分と言えない状況である。今後は、利用者のサービス向上はもちろんのこと、市民の方全てが、高齢者が生きがいをもって元気に暮らしていると感じられるような社会を目指して、施策を展開する必要がある。
----------	--

3. 政策を構成する施策一覧

	施策名	施策の達成状況				施策の二次評価	市民の意識		
		施策の指標	H19：基準	H20	H24：目標		進捗状況	満足度	重要度
1	高齢者の自立促進	要介護認定を受けていない高齢者の割合	85.1%	85.1%	90.1%	94.5%	高齢化社会が進行するなか、高齢者が自立して健康ではつらつとした生活を送ることができるよう、介護予防事業や認知症高齢者対策をさらに推進する必要がある。	15.3%	78.5%
2	高齢者の生きがいがづくりの充実	みやシニア活動センター利用者数		435人	580人	75.0%	高齢化社会が進行するなか、高齢者が生涯にわたり生きがいを持ち、社会で活躍できる機会を充実するよう、身近な地域で気軽に参加できる活動の場や参加機会の充実を図る必要がある。	15.2%	72.6%
3	介護保険事業の充実	要介護認定者のうち要介護4及び5の認定者の割合	23.4%	23.2%	23.4%	100.9%	要介護者等が増加するなか、介護を必要とする高齢者が公平に適正なサービスを受けられることができるよう、介護保険事業を充実する必要がある。また、施策全体における市民満足度は低いものの、別に実施した「介護サービス利用者アンケート」では8割以上の利用者が満足している状況にあることから、広報紙の活用や出前講座の実施などにより広く市民に周知を図りながら、市民理解を向上する必要がある。	13.7%	77.8%